

移住し、東京へ通勤

原木 在住 山田さん（移住歴1年）
取材 2015年10月



原木地区ってどんなところ？

○人口 2,274 人（893 世帯）※2015.10.1 現在
伊豆の国市の東部、伊豆箱根鉄道や国道136号線沿いに位置し、建売住宅、分譲地も多い地区です。

また、原木には住民が一堂に会して楽しめる大きな行事、夏の盆踊りと区民体育祭、秋の荒木神社の祭典があります。様々な行事をとおして区民の親睦が深められています。荒木神社の「三番叟」は、100年以上の伝統があります。



移住のきっかけ

子どもの幼稚園入園を前に、マイホームの購入を検討し始めました。湯河原、熱海、函南などの物件を探していましたが、購入価格・生活環境（教育・医療・買い物など）・交通の便等を検討した結果、伊豆の国市に現在の家を購入し、熱海市から移住しました。

住宅情報はインターネットから入手していましたが、気になる物件はすぐ売れてしまうことが多かったです。

移住してすぐ転勤となり、現在は東京へ新幹線通勤をしています。思っていたより楽ですね。新幹線も三島駅からの始発に乗り、座っていけるので快適です。

東京への通勤スケジュール(朝)

- 6:40 自転車で原木駅へ
- 6:53 原木駅から三島駅へ
- 7:16 三島駅から新幹線始発で東京駅へ
- 8:10 東京駅着。JR線乗り継ぎ水道橋にある職場へ。
- 9:30 始業

※帰りも 18:20 に定時退社すれば、20:00 過ぎには自宅へ戻り、のんびりできます。

移住してよかったこと

子どもの通園、買い物、通院などほとんどのことが自転車で済みます。歩いて行ける公園は近くにありませんが、自転車があれば大丈夫です。駅までも比較的近く、通勤にも便利です。駐輪場が無料、駐車場もほとんど無料なのも魅力です。自転車で移動がとても楽なので、気分転換や運動も兼ね、十分活用していきたいです。

また、近くに自然も多く、狩野川の堤防を散歩したり、サイクリングなども楽しめるので、健康志向の人にはよいと思います。子どもの遊び方も変わり、土いじりや石いじりを楽しんでいます。今までは土いじりができる環境ではなかったのですが、移住してからは土に触れ、自然に触れることがどこでもできます。そのような環境の中で、子どもには健康やかに元気に育ててほしいと思っています。

伊豆の国市は海に面していませんが、休日には海にもすぐに行けます！

移住して困ったこと・感じたこと

地区のごみ収集場所などの生活情報、周辺医療機関の市民のロコミなどがわかるとうれしいですね。

また、「狩野川」というと狩野川台風のイメージがあるので、災害情報は気になります。防災ラジオが役立っています。

防災ラジオは、電源さえ入っていれば、同報無線の放送が自動的にラジオから流れ、通常時はFM/AMラジオの放送を聞くことができるラジオです。災害時の情報伝達手段のひとつとして市で有償配布中です。



危険な場所や避難ルートは防災マップで確認してください！

移住を考えている人へ…

伊豆箱根鉄道沿線は意外と通勤に便利です。三島駅にも15分、そこから東京まで新幹線で50分程度です。現在は建売住宅が増えているので、手ごろな価格でマイホームの購入もでき、新幹線通勤をしても、都心で一軒家を購入するよりローンが楽だと思います。

また、高校も伊豆箱根鉄道沿線には数多くあるので、選択肢が広がります。医療面でも個人病院のほか、伊豆地区の中枢といってもいい順天堂大学医学部附属静岡病院あるというのも心強いです。

都会の便利さはありませんが、生活に不便はなく、子育てにはなかなか良い環境ではないかと思えます。

仕事をこちらで探すだけでなく、首都圏への通勤も視野に入れて検討してはいかがでしょうか。



充実した医療

高度医療の機能を持ち、救急救命センターを有する順天堂大学医学部附属静岡病院は、災害拠点病院として県に指定されています。また、総合周産期母子医療センターにも指定され、365日24時間体制で小児科医療にあたり、安心して子どもを産み、育てる環境と医療体制が整っています。

伊豆の国市は、人口10万人当たりの医師・薬剤師数は、県内の市の部で1番です。



インタビューの始めに幼稚園に通っている娘さんが「伊豆の国音頭」を踊ってくれました。伊豆の国音頭は、市民が踊りを通じて1つになるよう、伊豆の国市制10周年を記念して2014年にできた音頭です。踊りや歌、歴史や文化で郷土愛を育み、進学・就職で市外に出た子どもたちが戻ってきてくれるふるさと「伊豆の国市」でありますように……

伊豆の国市では中学生まで子どもの医療費が無料です。市内からは自転車で通える高校もあれば、首都圏の大学にも通学可能。お子さんの入園・入学にあわせてマイホーム購入を考える方は、候補のひとつに「伊豆の国市」いかがですか？

